

(記者発表資料)

平成27年 6月10日
公益財団法人 放送文化基金

第41回「放送文化基金賞」表彰対象について

放送文化基金賞

放送文化基金賞は、過去1年間(平成26年4月～27年3月)の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる開かれた賞です。今回は、全国の民放、NHK、それにプロダクションなどから、全部で250件の応募、推薦がありました。4月から約2か月にわたる厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞に16本の番組と演技賞や企画賞など個人に5件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で7件の受賞が決まりました。

受賞番組のうち最優秀賞は、テレビドキュメンタリー番組『ETV特集 薬禍の歳月～サリドマイド事件・50年～』(NHK)、テレビドラマ番組『相棒 season13』(テレビ朝日)、テレビエンターテインメント番組『しくじり先生 俺みたいになるな!!』(テレビ朝日)、ラジオ番組『YBCラジオスペシャル 花は咲けども～ある農村フォークグループの40年～』(山形放送)に贈られます。

さらに、『松本清張二夜連続ドラマスペシャル「坂道の家」』(テレビ朝日)に出演した柄本明さんと、『土曜オリジナルドラマ 連続ドラマW グーグーだって猫である』(WOWOW)に出演した宮沢りえさんに演技賞が贈られます。

また、個人・グループ部門の放送文化では、TBSテレビの『世界遺産』制作チームなど4件。放送技術では、日本テレビ放送網の「放送事業用連絡無線音声改善技術開発グループ」など3件が受賞します。

受賞者には、賞牌・トロフィー、賞金が贈られます。

賞金は、番組部門 最優秀賞—100万円、優秀賞—50万円、奨励賞—30万円、番組部門の個人賞—20万円、個人・グループ部門—30万円です。

贈呈式

放送文化基金賞の贈呈式は、平成27年7月7日(火) 午後4時30分からホテルオークラ東京(東京都港区虎ノ門)で行います。

第41回「放送文化基金賞」表彰対象

1. 番組部門—————16番組、5件

- (1) テレビドキュメンタリー番組……………5番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—3
- (2) テレビドラマ番組……………4番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (3) テレビエンターテインメント番組……………4番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—2
- (4) ラジオ番組……………3番組
最優秀賞—1 優秀賞—1 奨励賞—1
- (5) 個人……………5件
 - 「演技賞」——2件
 - 「演出賞」——1件
 - 「構成作家賞」——1件
 - 「企画賞」——1件

2. 個人・グループ部門—————7件

- (1) 放送文化……………4件
- (2) 放送技術……………3件

お問い合わせ先 放送文化基金(担当 安部、川副)
東京都渋谷区宇田川町41-1 共同ビル5F
TEL(03)3464-3131

第 4 1 回「放送文化基金賞」受賞一覧

部 門	賞 (賞金)	受賞者	番組名・業績	
組 部 門	テレビドキュメンタリー 番 組	最優秀賞 (100万円)	NHK	ETV特集 葉禍の歳月～サリドマイド事件・50年～
		優 秀 賞 (50万円)	テレビユー福島	TUフルポルタージュ ふつうの家族 ある障がい者夫婦の22年
		(30万円)	NHK福岡放送局、NHK長崎放送局	NHKスペシャル 知られざる衝撃波～長崎原爆・マッハシステムの脅威～
		奨 励 賞 (30万円)	NHK広島放送局	NHKスペシャル 水爆実験 60年目の真実 ～ヒロシマが迫る“埋もれた被ばく”～
	(30万円)	テムジン、NHK、NHKエンタープライズ	BS1スペシャル 女たちのシベリア抑留	
	テレビドラマ 番 組	最優秀賞 (100万円)	テレビ朝日	相棒 season13
		優 秀 賞 (50万円)	NHK	土曜ドラマ 55歳からのハローライフ
		(30万円)	テレビ朝日	松本清張二夜連続ドラマスペシャル「坂道の家」
	テレビエンタ メ 番 組	(30万円)	WOWOW	土曜オリジナルドラマ 連続ドラマW グーグーだって猫である
		最優秀賞 (100万円)	テレビ朝日	しくじり先生 俺みたいになるな!!
		優 秀 賞 (50万円)	テレコムスタッフ、NHK、NHKエンタープライズ	秋の文学スペシャル 漱石「こころ」100年の秘密
	ラジ オ 番 組	(30万円)	テレビせとうち	おばあちゃんの台所
		奨 励 賞 (30万円)	TBSテレビ	6人の村人!全員集合
		最優秀賞 (100万円)	山形放送	YBCラジオスペシャル 花は咲けども～ある農村フォークグループの40年～
		優 秀 賞 (50万円)	東海ラジオ放送	大須演芸場盛衰記～笑ってさよなら
奨 励 賞 (30万円)		琉球放送	RBCiラジオスペシャル 学童疎開船・対馬丸撃沈70年	
個人・ グ ル ー プ 部 門	放 送 文 化	演 技 賞 (20万円)	柄本 明	「松本清張二夜連続ドラマスペシャル 坂道の家」
		演 技 賞 (20万円)	宮沢りえ	「連続ドラマW グーグーだって猫である」
		演 出 賞 (20万円)	石原大史	「葉禍の歳月～サリドマイド事件・50年～」
		構 成 作 家 賞 (20万円)	縦野太紀	「しくじり先生 俺みたいになるな!!」
		企 画 賞 (20万円)	島袋千恵美	「RBCiラジオスペシャル 学童疎開船・対馬丸撃沈70年」
放 送 技 術	(30万円)	三村忠史 (NHK チーフ・プロデューサー)	優れた調査報道番組の制作	
	(30万円)	八木康夫 (TBSテレビ 執行役員・プロデューサー)	長年プロデューサーとして優れたテレビドラマを制作	
	(30万円)	『世界遺産』制作チーム (TBSテレビ)	20年にわたる最新放送技術への挑戦	
(30万円)	全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会 (ニッポン放送 他)	40年にわたるチャリティ番組の放送・活動		
(30万円)	周波数移行プロジェクトチーム 代表 青木良太 (フジテレビジョン)	1.2GHz/2.3GHz帯 受信アンテナの開発		
(30万円)	ハンディカメラ対応バーチャルスタジオ 開発グループ 代表 加藤大一郎 (NHK)	小型姿勢センサーを用いたハンディカメラによるバーチャルスタジオの開発と実用化		
(30万円)	放送事業用連絡無線音声改善技術開発グループ 代表 牧野鉄雄 (日本テレビ放送網)	デジタル連絡無線音声改善技術の開発		

*番組部門の各賞と個人・グループ部門は、受付順による。

第41回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビドキュメンタリー番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
ETV特集 薬禍の歳月 ～サリドマイド事 件・50年～ 平成 27. 2. 21 (土) NHK	語り 渡邊佐和子 撮影 角 文夫 映像技術 一瀬 賢司 音声 正井 淳之 小川 一登 音響効果 日下 英介 編集 高橋 慶太 吉岡 雅春 コーディネーター ベティナ ・コバヤシ ディレクター 石原 大史 制作統括 鶴谷 邦顕 田波 宏視 出演 増山ゆかり 中野 寿子 市川 昌也 佐藤 育子 吉澤 篤人 佐藤 嗣道 杉本 絵理 峻太郎 バーバラ ・ウェーバ イソカ ・シュテブリッ デイン ・グレイター マリーネ ・ループレヒト	妊婦が服用した薬によって、子どもたちに重い障害を負わせた「サリドマイド薬害事件」。 全国で300人を超える子どもたちが被害者と認められた。事件を巡る裁判は、10年争った末、国と製薬会社が責任を認め和解に至った。しかし、和解は事件の終わりではなかった。 和解当時、子どもだった被害者は50代になり、これまでにない体の異変に襲われている。目に見える奇形に留まらない内臓や骨などの異常や、無理な体の使用による二次障害の多発など、和解当時には明らかでなかった障害が、国の調査によって判明したのである。 終わらぬ被害の存在を前に、被害者は、再び事件と向き合おうとしている。被害者は、薬害を背負った人生をどう生きてきたのか。そして、その傷は償うことができるのか。今、被害者が自らの言葉で、これまで伏せられてきた「薬禍の歳月」を語り始めた。	薬禍と認められ、「和解」が成立したとしても、被害者である子どもたちの苦しみは消えるものではない。苦痛に耐え生き続けてきた人々が語る言葉は、強い説得力を持ち、尊厳に充ちている。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
TUFルポルタージュ ふつうの家族 ある障がい者夫婦の 22年 平成 26. 6. 29 (日) テレビユー福島	取材ディレクター 深谷 茂美 撮影 渡辺 真敏 遠藤 善哉 音響効果 佐藤 佳太 語り 永田 亮子 構成 菊池 豊 プロデューサー 伊藤 明	共に脳性まひの重い障がいを持つ秋元さん夫婦。親元を離れ自立したいと結婚したのは1992年のこと。やがて夫婦はふたりの子供を授かった。ほとんど前例のない重度障がい者夫婦の子育ては様々な壁が立ちはだかったが、妻恵子さんは言う。「できるかできないかではなくて、やるしかない。」重度障がい者が子供を産むことへの世間の批判も受け止めながら、夫婦は「自分たちが最初のひとりになることで世の中を変えたい。」と考えた。秋元家の二十余年に及ぶ歩みを通して「家族」の意味を問いかける。	重大なハンディキャップを背負った夫婦の生き方と覚悟が画面を通じ伝わってくる。 また、歳月を費やして撮り続けた取材者が家族から信頼されていたことが感じられる。 障がいを持つ他の多くの人たちを励ます番組である。

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>NHKスペシャル 知られざる衝撃波 ～長崎原爆・マッハス テムの脅威～</p> <p>平成 26. 8. 18 (月)</p> <p>NHK福岡放送局 NHK長崎放送局</p>	<p>制作統括 坊 恵一 篠内 潤也 石本 達也 ディレクター 石原 茂雄 夫馬 直実 取材 山元 康司 安土 直輝 撮影 橋本 秀一 木村 史 編集 堀江 久子 CG制作 鈴木 聡 音響効果 栃木 康幸 語り 上田 早苗</p>	<p>長崎を襲った原子爆弾の詳しい破壊メカニズムを解き明かす新たな手がかりが見つかった。70年前、原爆投下直後に長崎入りした学術調査団が残した一枚の地図。爆心地を中心に半径 500 メートルより先が、赤くドーナツ状に塗られている。爆心地から離れるほど爆風が威力を増す「マッハステム」による破壊を捉えたものだ。取材を進めると、アメリカがマッハステムの破壊力を周到に計算し、意図的に利用していたことが明らかになった。あの日、猛烈な爆風によって 138 人の命が奪われた旧・城山国民学校を舞台に、衝撃波・マッハステムの脅威に迫る。</p>	<p>徹底した分析と調査により、長崎で被爆した人たちの多くが、爆風が原因で亡くなったことが判明。また、死者たちが名前不明のまま、非情にもナンバーのみで記されていたことなどを明らかにした。</p>
<p>NHKスペシャル 水爆実験 60年目の 真実 ～ヒロシマ が迫る“埋もれた被ば く”～</p> <p>平成 26. 8. 6 (水)</p> <p>NHK広島放送局</p>	<p>語り 伊東 敏恵 撮影 釋河野公彦 編集 川神 侑二 音響効果 三澤恵美子 ディレクター 花井 利彦 石濱 陵 佐々木英基 制作統括 高倉 基也 柄子 和也</p>	<p>1954 年、太平洋ビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験。当時、周辺ではのべ千隻近くの日本の漁船が操業し、多くが放射性物質を含む“死の灰”を浴びた。しかし、国は第 5 福竜丸以外の漁船員たちの被ばくを認めてこなかった。</p> <p>そして今、広島の実験者たちが動き出した。長年、積み上げてきた科学的手法を用い、漁船員の歯や血液を解析。すると人体に残る「被ばくの痕跡」が見つかったのだ。科学調査や新資料の読み解きによって次々と明らかになっていく、“存在しない”とされた被ばく。東西冷戦のうねりの中で埋もれてきた、水爆実験の 60 年目の真実に迫る。</p>	<p>血液の染色体数の異変や抜けた歯の放射線量が立証する事実の重みに肅然とさせられた。</p>
<p>BS1スペシャル 女たちのシベリア抑 留</p> <p>平成 26. 8. 12 (火)</p> <p>テムジン NHK NHKエンタープライズ</p>	<p>語り 伊東 敏恵 後藤 一平 撮影 海老原正倫 音響効果 松田 美子 編集 劉 珊珊 取材 小柳ちひろ ディレクター 矢島 良彰 プロデューサー 太田 宏一 制作統括 伊藤 純</p>	<p>終戦直後、満州などにいたおよそ 60 万人の日本人がソ連・モンゴルに送られ、強制労働を強いられた“シベリア抑留”。その中に、数百人に及ぶ女性たちもいた。</p> <p>番組では、元抑留者の女性たちの証言と残された家族や関係者、ロシアの公文書などへの丹念な取材によって、知られざる女性たちの抑留の実態を浮かび上がらせる。また、抑留に至るまでの女性の戦時動員の状況や、北朝鮮でソ連の裁判にかけられ、帰国を果せなかった女性の存在など、昭和を生きた女性たちの様々な人生を描く。</p>	<p>丁寧な取材により重みのある言葉を引き出し、当時の雰囲気をよく伝えている。</p> <p>女性たちの言葉は重く、戦争の理不尽さ、むごさを強く訴えかけている。</p>

第41回 放送文化基金賞

「番組部門」

— テレビドラマ番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
相棒 season 13 平成 26. 10. 15 (水) ～27. 3. 18 (水) 〈全 19 話〉 応募は 第 15 話 「鮎川教授最後の授業」 第 16 話 「鮎川教授最後の授業・ 解決篇」 テレビ朝日	脚本 興水 泰弘 ほか 監督 和泉 聖治 ほか 音楽 池 頼広 エグゼクティブ プロデューサー 桑田 潔 ゼネラル プロデューサー 佐藤 涼一 プロデューサー 伊東 仁 西平 敦郎 土田 真通 出演 水谷 豊 成宮 寛貴 鈴木 杏樹 真飛 聖 川原 和久 山中 崇史 山西 惇 六角 精児 片桐 竜次 小野 了 石坂 浩二 ゲスト出演 仲間由紀恵 (15 話 16 話) 石野 真子 清水 紘治 ほか	2000 年に土曜ワイド劇場でスタートし、2002 年からレギュラー化された「相棒」は今季でシーズン 13 を迎える。警視庁の窓際部署“特命係”に所属する頭脳明晰な杉下右京（水谷豊）とその相棒・甲斐享（成宮寛貴）が難事件を次々と解決していく。 ある日、右京は東大の恩師の古稀を祝う会に出席。参加者は恩師で法学部名誉教授の鮎川珠光（清水紘治）と優秀だった元教え子たち。現役准教授、弁護士、官僚のほか警視庁広報課長の社美彌子（仲間由紀恵）の姿も。そこで鮎川は突然、疑問を投げ掛けてくる。「なぜ人を殺してはいけないのか?」。参加者が戸惑っていると強烈な睡魔に襲われ、地下室に監禁されてしまう。そこには猟銃を手にした鮎川の姿が。監禁されていると知った享は捜査一課とともに行方を追う。鮎川は一同を監禁したまま、先ほどの疑問に満足のいく解答が得られなければ誰かを撃ち殺すと宣言。右京は享が助けに来てくれることを信じ、大きな賭けに出るのだった。	「鮎川教授最後の授業」は、「なぜ人を殺してはいけないのか」という重いテーマを「相棒」ならではの視点で描き、観る者を引きつける力があつた。 また、長年にわたるシリーズが培ってきたスケールの大きさ、シリーズを重ねた連続ドラマならではのエンターテインメント性、完成度が評価された。

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
土曜ドラマ 55歳からのハロー ライフ 平成 26. 6. 14 (土) ～7. 12 (土) 〈全 5 話〉 応募は 第 1 話 「キャンピングカー」 第 5 話 「空を飛ぶ夢をもう一度」 NHK	原作 村上 龍 脚本 大森寿美男 音楽 清水 靖晃 制作統括 訓覇 圭 演出(第1話) 加藤 拓 (第5話) 中島 由貴 美術統括 山口 高志 美術 深尾 高行 技術 前田 貢作 音響効果 佐々木敦生 撮影(第1話) 佐々木達之介 (第5話) 藤田 浩久 照明 牛尾 裕一 音声 中本 一男 映像技術 国友 秀光 出演(第1話) リー・フランク 戸田 恵子 長谷川博己 (第5話) イッセー尾形 奈良岡朋子 火野 正平ほか	村上龍の小説「55歳からのハローライフ」を、1話読みきりのオムニバス形式で映像化。5編の主人公たちは皆、人生の折り返し点を過ぎた中高年。それぞれに立場は違っても、残酷な日常を抱えている。老いてからの再就職、婚活、家族の崩壊、親友との別れ…。ごく普通の人々に起こるごく普通な出来事を圧倒的にリアルに描いていく。 —果たして、人生の「再出発」は可能なのか?— 様々な不安から目をそむけず、新たな道を探ろうと歩み出す主人公たちの姿を通し、老いていくことの希望を描く、“大人による、大人のためのドラマ”。	この年代の誰もが思い当たる不安を、この年代でしか表現できない機微をもって巧みにドラマ化した点が高く評価された。特に第5話「空を飛ぶ夢をもう一度」では、イッセー尾形と火野正平の真に迫る演技によって人生の意味を見直す切なさが深く表現され、秀逸なドラマとなった。

奨 励 賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者 等	概 要	選 考 理 由
<p>松本清張二夜連続ドラマスペシャル 「坂道の家」</p> <p>平成 26. 12. 6 (土)</p> <p>テレビ朝日</p>	<p>原作 松本 清張 脚本 池端 俊策 監督 鶴橋 康夫 音楽 mio・sotido チーフ 五十嵐文郎 プロデューサー 黒田 徹也 ゼネラル 船津 浩一 プロデューサー 秦 祐子 出演 尾野真千子 柄本 明 小澤 征悦 渡辺 えり 笛木 優子 ほか</p>	<p>吉太郎 (柄本明) は寝具店を地道に経営していた。金を貯めることが生き甲斐の夫に妻のミツ (渡辺えり) も特に不満はなかった。ある日、客としてやってきた若い女りえ子 (尾野真千子) に魅了される吉太郎。すぐに二人は男女の関係になっていった。</p> <p>1年後。吉太郎は豹変し、貯金をりえ子の理容店の独立資金へと注ぎ込んでいた。ある日、りえ子は大学准教授となった初恋の相手、直樹 (小澤征悦) と再会する。二人には、子供の頃の“ある暗い過去”があった。りえ子の心の変化を吉太郎は敏感に感じとる。りえ子と吉太郎は、高台にある坂道の家を手に入れる。やがてその家で、りえ子と吉太郎そして直樹の3人に修羅場が訪れようとしていた…。</p>	<p>これまでに5回テレビドラマ化された松本清張作品であるが、今回は主人公りえ子の過去を書き加える新たな試みを加えて、尾野真千子演じるりえ子にすべてを賭けてしまった初老の男を演じた柄本明の鬼気迫る演技が大きくクローズアップされる構図となった。ストーリーの面白さもさることながら、どうにも後戻りできなくなってしまった男の執念がリアルに描かれた点が評価された。</p>
<p>土曜オリジナルドラマ 連続ドラマW グーグーだって猫である</p> <p>平成 26. 10. 18 (土) ～11. 8 (土) <全4回> 応募は第1回、第4回</p> <p>WOWOW</p>	<p>プロデューサー 高嶋 知美 江川 智 原作 大島 弓子 脚本 高田 亮 シリーズ構成・監督 犬童 一心 音楽 高田 漣 出演 宮沢 りえ 長塚 圭史 黒木 華 田中 泯 ほか</p>	<p>吉祥寺に住む小島麻子 (宮沢りえ) は、人気連載を持つ少女漫画家。締め切りに追われる多忙な日々の中、長年共に暮らしてきた愛猫のサバが突然息を引き取ってしまう。以来、漫画が描けなくなり、食事も喉を通らなくなる麻子。心配した担当編集者・大森 (長塚圭史) の勧めで一軒家に引越しをしたものの、依然として生活のペースは戻らない。</p> <p>ある日、井の頭公園を散歩していた麻子は病気の子猫を連れてたホームレス (田中泯) と出会う。彼と何度か顔を合わせるうちに、子猫の病気を治してあげたいと思い始めた麻子は、ホームレスに無断で子猫を病院に連れて行くのだが…。</p>	<p>作品全体に自由さがみなぎり、吉祥寺という場所への愛と、猫たちに支えられた主人公の優しさと安らぎが、とても繊細かつお洒落に表現されて、ある種の人生哲学の域にまで達していた。とりわけ田中泯演じるホームレスとの交流は“啓示”的であり、『海辺のカフカ』のナカタさんを想起させるほどの形而上学的世界を思わせた。</p>

第41回 放送文化基金賞
「番組部門」
— テレビエンターテインメント番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>しくじり先生 俺みたいになるな!!</p> <p>平成 26.10月～平成 27.3月毎週(木)深夜放送</p> <p>応募は第16回</p> <p>テレビ朝日</p>	<p>ゼネラル 畔柳 吉彦 プロデューサー プロデューサー 富澤 有人 乾 弘明 チーフディレクター 北野 貴章 構成作家 梶野 太紀 出演 若林 正恭 吉村 崇</p>	<p>しくじり先生は「人生を盛大にしくじった人から『しくじりの回避術』を学ぼう!」をコンセプトに毎回1人のゲストが自分と同じ失敗を犯す人が増えないよう、番組オリジナルの教科書を使いながら授業を行う番組。この4月からは月曜よるゴールデンで放送中!深夜時代には、特別番組を含めて28回放送、気づいたら天狗だった柳井隆夫先生、すぐ失言してしまう杉村太蔵先生、「それが大事」を歌いすぎて何が大事かわからなくなった立川俊之先生など素人先生を含め37組のしくじり先生が登場した。</p> <p>成功者がテレビで成功体験を語ることは華やかで羨ましいが、それ以上に失敗経験があったからこそ、どん底の経験をしたからこそ、その思いを自分の口から話すことによって見た人に伝わる思いや教訓がある。この番組は単に自虐ネタを披露してもらうのではなく、その体験から「俺みたいにならないために」はどうすればいいのかを学び、見終わったあとに先生を少し好きになってもらいたいそんな思いで制作されている。</p>	<p>終始笑わせながら、「失敗してもいいんだよ」と挫折体験から教訓を引き出して視る者に勇気を与えるバラエティ番組になっている。</p> <p>生徒役の机に置かれた教科書がうまく作られており、構成作家、演出家の力を評価したい。多くのひな壇番組がある中、それとは違う方向で新しいバラエティを作っているという制作者の意気込みが感じられる。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>秋の文学スペシャル 漱石「こころ」100年の秘密</p> <p>平成 26.9.10(水)</p> <p>テレコムスタッフ NHK NHKエンタープライズ</p>	<p>企画プロデュース 長嶋 甲兵 制作統括 鳥本 秀昭 伊藤 純 ディレクター 羽根井信英 アシスタント 山本恵梨子 プロデューサー アシスタント 中村有里沙 ディレクター 出演 鈴木 杏 高橋源一郎 関川 夏央 小森 陽一 中野 信子</p>	<p>夏目漱石『こころ』は1914年の新聞連載以来、売り上げ累計1000万部を超え、国語教科書にも掲載されるなど、100年に渡り「国民文学」として読み継がれてきた。しかしその内容は、先生と親友Kの「自殺」という暗いテーマに加え「同性愛」「戦争未亡人」「殉死」など隠微でアブナイキーワードに満ちている。そんな『こころ』がなぜ国民文学なのか?作家、文化人、研究者たちが「秘密の読書会」に集結。斬新な手法の朗読劇によるわかりやすい概要紹介を交え、『こころ』に秘められた謎や魅力を紐解き、100年後の今に通じる現代性を深読みしてゆく。</p>	<p>昔誰もが読んだことがある夏目漱石の「こころ」を取り上げ、批評そのものをエンターテインメントとして見せるスタイルが新しい。</p> <p>再現ドラマ、音楽の入れ方、座談会メンバーの人選や展開の仕方が絶妙で、制作者の力を感じる作品。</p>

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>おばあちゃんの台所</p> <p>平成 23. 10. 5 (水) ～毎週土曜日放送中</p> <p>応募は 第 64 回 「カズ子おばあちゃんの 菜めし」 第 76 回 「千舟おばあちゃんのご ま豆腐」</p> <p>テレビせとうち</p>	<p>プロデューサー 遠藤 美穂 出演・絵 浅井 批文 営業 河原 志保 広報 菅野 香 ディレクター 石田 公子 石原勢津子 松本 倫明 牧野 真吾 MA 森本 広介 TD 末沢 正美 撮影 井上 慎一 松井 一也 音声 大野 博之 テーマソング エバラ健太</p>	<p>核家族化が進み、おばあちゃん の味を知らないまま暮らす子供た ちも多い今。消えつつある懐かし い「おばあちゃんの味」を未来へ 伝えたい。料理の技術だけでなく、 その心も。そんな思いでこの番組 は 2011 年秋にスタートした。 これまでに出演したおばあちゃ んは、80 人以上。おばあちゃん とのふれあいの少ない時代に「孫に 食べさせたい料理」「教わりたい懐 かしいおばあちゃんの味」を番組 が視聴者のおばあちゃんに代わっ て紹介しようというものだ。 レシピはもちろん、おばあちゃ んの優しさや温もりも伝えている。</p>	<p>生活に深く根付 いた地域の食文化 に光を当て、丁寧 に制作されており、全 国の放送局で制作 してほしい番組。お ばあちゃんとアシ スタントの浅井ア ナウンサーのやり 取りが自然で、家族 で見て楽しめる番 組に仕上がってい る。地域放送の役割 を果たす意義のあ る仕事であり、高く 評価したい。</p>
<p>6 人の村人!全員集合</p> <p>平成 26. 8. 20(水)</p> <p>TBSテレビ</p>	<p>プロデューサー 安田 淳 坂本 義幸 演出 岡田 秀行 藤井健太郎 企画・構成 高須 光聖 構成 渡辺 真也 興津 豪乃 撮影 石毛 雄己 出演 志村 けん 内村 光良 三村マサカズ 岡村 隆史 田村 淳 日村 勇紀 田村 亮</p>	<p>志村けん、内村光良、三村マサ カズ、岡村隆史、田村淳、日村勇 紀。名前に「村」がつくというだ けで、6 人の芸人が「村の会」を 結成! 「村」を訪れて楽しみ、「村」 に宿泊して英気を養う「慰安旅行」 をすることに! まずはお膝元・東 京の檜原村へ! 淳の運転で TBS を出発し、まず は岡村をピックアップ。いきなり 渋滞で先輩・内村を待たせるハプ ニングが発生したが、数十年ぶり の対面を果たし、話し込む内村と 岡村。檜原村で三村と合流し、自 然と蕎麦を堪能した 4 人は、河口 湖で日村と合流。水遊びを楽しみ、 温泉を満喫した 5 人は、大御所・ 志村が待つ忍野村へ。宿で待つ志 村と合流し、大宴会がスタート!</p>	<p>即興性、ハプニン グ性を番組の中で 見事に見せていた。 第一線で活躍す る 6 人の芸人のキ ャスティングから、 どのように出会う せるかという点ま で、よく練られてい る。 お笑い番組が画 一化する中で、どう いう面白いものが できるかというこ とにチャレンジし た番組である。</p>

第41回 放送文化基金賞

「番組部門」

— ラジオ番組 —

最優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>YBCラジオスペシャル 花は咲けども ～ある農村フォーク グループの40年～</p> <p>平成 26. 5. 31 (土)</p> <p>山形放送</p>	<p>プロデューサー 伊藤 清隆 ディレクター 伊藤 和幸 ナレーター 松下 香織 出演 遠藤孝太郎 青木 文雄 横澤 芳一 船山 正哲 鈴木マサ子 丸 睦美 高野 康幸</p>	<p>山形県長井市のフォークグループ「影法師」は、結成40年を迎えた“おじさん”4人のグループだ。2人は農家、2人はサラリーマン。これまで地方、農業の現場から100曲以上の歌を紡ぎ出してきた。代表作「白河以北一山百文」の3番の歌詞はこうだ。「原発みたいな危ないものは全て東北に押し付けて 浮かれて暮らすのは東京の人だけ 割に合わないね 東北というのは(標準語訳)」。それから20年後、福島第一原発の事故が起きた。</p> <p>影法師は2012年、「花は咲けども」を作った。震災復興支援ソング「花は咲く」のアンサーソングだという。「国や財界は原発事故を早急に幕引きしたいのでは」と感じた彼らは、「花は咲けども」を歌いながら事故を風化させてはならないと訴える。この歌を広めていくため、全国の音楽仲間呼びかけ、歌をユーチューブで公開するプロジェクトも始めた。</p> <p>番組では、“東北と中央の理不尽な関係”を浮き彫りにし、「花は咲けども」に込めた思いを伝える。</p>	<p>地方対中央という歴史的な文脈における大きな構図の中で福島原発の問題を捉え、それを剥き出しのメッセージとしてではなく、ユーモアを交えた音楽の力で表現した。ラジオにふさわしい優れた作品。</p>

優秀賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>大須演芸場盛衰記～ 笑ってさよなら</p> <p>平成 26. 5. 25 (日)</p> <p>東海ラジオ放送</p>	<p>プロデューサー 秋田 和典 兼ディレクター 岸田 実也 ディレクター 高橋真裕美 構成 村田 宣治 ミキサー 上野真木夫 出演 天野 鎮雄 (俳優) 三遊亭円丈 (落語家) 足立 秀夫 (大須演芸場元席亭) 森 卓也 (映画評論家) 古池 鱗林 (講談師)</p>	<p>名古屋市中区にある大須演芸場は、この地方で唯一の常設の演芸場で、1965年に誕生。1970年代はなかなかの賑わいだった。足立秀夫さんが席亭になったのは1973年、子どものころからの夢がかなった。しかし経営の方はうまくいかず危機を迎えた。苦境に立った演芸場を支援したのは落語家の古今亭志ん朝さん。足立席亭との交流も紹介。さまざまな人々が大須演芸場と関わってきた。</p> <p>しかし、賃料の滞納による建物明け渡し通告され、2014年2月に大須演芸場は閉館となった。そして、4月下旬、大須演芸場の再開の可能性が明らかになった…。</p>	<p>「日本一客が入らない小屋」を擬人化し、笑いと哀感を織り交ぜた一人称の語りで表現した構成が素晴らしい。</p> <p>地元の人々に愛された古い演芸場の半世紀にわたる盛衰を、豊富な音源を駆使して巧みに聴かせた。</p>

奨励賞

タイトル・放送日・制作	スタッフ・出演者等	概要	選考理由
<p>RBC i ラジオスペシャル 学童疎開船・対馬丸 撃沈70年</p> <p>平成 26. 9. 15 (月)</p> <p>琉球放送</p>	<p>プロデューサー 比嘉 京子 取材・ナレーション 島袋千恵美 ナレーション 土方 浄 出演 宮城 政和 平良 啓子 高良 政勝</p>	<p>1944年8月22日、「対馬丸」は悪石島沖でアメリカ軍の魚雷攻撃を受け撃沈。疎開のため乗船していた学童780人を含む約1500人が犠牲になった。悲劇から70年、遭難者を救助した漁船乗組員の手記が初めて発見される。</p> <p>かろうじて命を繋いだ「対馬丸生存者」の壮絶な体験、生きながらえたゆえの苦悩を本人の証言で綴り、「対馬丸記念館」を中心に、多くの子ども達がまきこまれた戦争の歴史をどう後世に伝えるか模索する人々の思いを追った。取材者は、対馬丸に乗る予定を変更した父親から受け継ぐ「命のバトン」の重みを確認しながら、70年前の戦争と向き合おうとする。</p>	<p>地道な取材で対馬丸生存者をはじめ関係者の多くの生の証言を引き出した。</p> <p>悲惨な過去の事実を検証するだけでなく、そこから未来へつなげる反戦と平和のメッセージを明るさをもって伝えた。</p> <p>戦後70年を目前にし、祖父母の世代からの戦争の記憶を若い世代にどう語り継ぐかということも描いている。</p>

第41回放送文化基金賞

「番組部門」

演技賞

受賞者	対象番組	選考理由等
えもと あきら 柄本 明	松本清張二夜連続ドラマ スペシャル「坂道の家」 (テレビ朝日) テレビドラマ番組	若く妖艶な女性に入れあげる初老の男の悲哀と狂気を迫力をもって演じた。観る者を驚愕させる鬼気迫る演技は、圧倒的であり群を抜いていた。

演技賞

みやざわ 宮沢 りえ	連続ドラマW グーグーだって猫である (WOWOW) テレビドラマ番組	宮沢りえさんが放つ独特なオーラと存在感により、ゆったりとした時間を大切に生きていく女性ならではの鋭敏な感性に満ちた作品に仕上がった。
---------------	--	--

演出賞

いしはら ひろし 石原 大史	薬禍の歲月 ～サリドマイド事件・50年～ (NHK) テレビドキュメンタリー番組	取材者の問いかけが的確で、被害者から知的で強い説得力をもつ発言を引き出している。
-------------------	---	--

構成作家賞

もみの たいき 縦野 太紀	しくじり先生 俺みたいになるな!! (テレビ朝日) テレビエンターテインメント番組	先生役のゲストからエピソードを引き出して作るオリジナルの教科書が素晴らしい。構成作家の力を感じる。
------------------	--	---

企画賞

しまぶくろ 島袋 ちえみ 千恵美	RBCiラジオスペシャル 学童疎開船・対馬丸撃沈 70年 (琉球放送) ラジオ番組	自身の父が対馬丸に乗る予定を変更し命を救われたことと、対馬丸生存者との出会いを契機に番組を企画。戦争の記録を残すだけでなく、未来の子どもたちに「命のバトン」を繋ぐことの重要性を明るさをもって伝えた。本人が取材、ナレーションも担当し、番組に説得力をもたせている。
------------------------	---	--

第41回放送文化基金賞
「個人・グループ部門」
－ 放送文化 －

受賞者	業績	業績内容・選考理由
三村 忠史 (NHK チーフ・プロデューサー)	優れた調査報道番組の制作	1996年NHK入局。社会問題をテーマにしたドキュメンタリーを企画・制作している。近年の安全保障政策の大転換を見つめたNHKスペシャル『特定秘密保護法を問う～“施行”まで4か月～』、『60年目の自衛隊～現場からの報告～』、深刻化する格差社会の現実を見つめた『調査報告 女性たちの貧困～“新たな連鎖”の衝撃～』などの優れた調査報道番組を立て続けに制作し、『震災ビッグデータ』シリーズでは、新しい調査報道のスタイルに挑戦した。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
八木 康夫 (TBSテレビ 執行役員・プロデューサー)	長年プロデューサーとして優れたテレビドラマを制作	1973年TBS入社。田村正和のコメディドラマや人気アイドルを起用した新感覚のホームドラマが人気を呼ぶなど、80年代後半から90年代にかけてヒットメーカーの地位を確立した。2003年『さとうきび畑の唄』以降は昭和という時代と太平洋戦争を検証する大型企画に力を入れる。2014年に放送された『おやじの背中』は「父と子」をテーマにした1話完結形式のホームドラマで、日本を代表する脚本家10人が競作。長年の経験に基づいた企画力と交渉力が高く評価された。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
『世界遺産』制作チーム (TBSテレビ)	20年にわたる最新放送技術への挑戦	「人類共通の財産である世界遺産を、最新映像技術で記録し、未来に残す」をコンセプトに1996年放送開始。これまでに120か国600以上の世界遺産を取材。アナログ放送時代にいち早くデジタル映像を取り入れ、99年からハイビジョン撮影を開始。5.1サラウンド放送や3D放送も行う。12年には超高画質の4Kによる番組制作を開始。20年にわたり、常に最先端の撮影技術・放送技術を用いた映像表現の開発に挑戦し続けている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
全国ラジオ・チャリティ・ミュージックソン 実行委員会 (ニッポン放送 他)	40年にわたるチャリティ番組の放送・活動	1975年、ニッポン放送ほか全国3つのラジオ局で、日本のラジオ局として初の24時間生放送チャリティ番組『ラジオ・チャリティ・ミュージックソン』がスタート。目の不自由な人の社会活動を支援するため「音の出る信号機」を設置する基金を募った。今では全国11局で実行委員会を組織し、毎年クリスマスイブの正午から生放送を行っている。互いに連携した放送も行いながら、各局はそれぞれ独自に番組を企画・制作し、地域に根差したキャンペーンに発展している。

第41回放送文化基金賞
「個人・グループ部門」
－ 放送技術 －

受賞者	業績	業績内容・選考理由
周波数移行プロジェクトチーム 代表 青木 良太 (フジテレビジョン)	1.2GHz/2.3GHz帯受信アンテナの開発	2019年3月末の周波数再編完了に向けて、現用の700MHz帯アンテナと同等の高利得・広半値角を有する高利得型、利得を抑え広い半値角を有する広半値角型の1.2GHz/2.3GHz帯受信アンテナを開発した。独創的なアンテナデザインで小型化・高性能化を実現し、利便性が向上。ロードレース移動中継、ワイヤレスカメラ、屋外中継用A型ラジオマイクなどで安定した運用を確認しており、周波数の有効活用に結び付くものとなっている。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
ハンディカメラ対応バーチャルスタジオ開発グループ 代表 加藤 大一郎 (NHK)	小型姿勢センサーを用いたハンディカメラによるバーチャルスタジオの開発と実用化	実写映像とCGをリアルタイムに連動させて映像を合成するバーチャルスタジオでは、CG描画の際にカメラの位置情報などが必要で、専用のペDESTALやクレーンなどの大規模な機器が使用されていた。そこで、新たに自律的に動作する小型・低コストの姿勢センサーを開発し、ハンディカメラによるバーチャルスタジオを構築。これによりカメラワークの自由度が向上し、より豊かな映像表現が可能となった。コストの低廉化によりバーチャルスタジオのより一層の普及が期待される。

受賞者	業績	業績内容・選考理由
放送事業用連絡無線音声改善技術開発グループ 代表 牧野 鉄雄 (日本テレビ放送網)	デジタル連絡無線音声改善技術の開発	放送局で使用される放送事業用連絡無線はデジタル・ナロー方式に変更されたが、音声の明瞭度が低く、音質の改善が望まれていた。そこで、デジタル連絡無線に使われているボコーダの音質を大幅に改善する音声改善技術を開発。FPGAのソフトウェアで対応できることから、既に販売された製品にも導入でき、全国の放送事業用連絡無線の改善に大きく寄与する。同様の方式は自治体無線や消防無線にも採用される予定であり、広範な活用も期待される。